

1. 第7回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

- 1 開催日時 : 平成31年1月10日(木) 10:00~12:00
- 2 場 所 : 尾原ダム管理支所(雲南市木次町平田 211-5)
- 3 出席委員 : 速水雄一委員長、作野広和委員、勝部博委員、石原肇委員代理、景山孝志委員、勝田康則委員、高橋裕司委員、大作和弘委員



4 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶 雲南市長 速水委員長
- 3) 出席者紹介
- 4) 議事
 - ①尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
 - ②尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - ③尾原ダム水源地域ビジョン後期版への移行
 - ④平成30年度のプロジェクト実施状況、平成31年度の実施プロジェクト(案)
- 5) 閉会

5 配布資料

- ・資料-1: 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
- ・資料-2: 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
- ・資料-3: 尾原ダム水源地域ビジョン後期版への移行
- ・資料-4: 平成30年度のプロジェクト実施状況、平成31年度の実施プロジェクト(案)

6 議事要旨

1) 委員長挨拶

- ・尾原ダム周辺地域と尾原ダムの積極的な活用によって自立的、持続的な発展を目指して水源地域ビジョンが平成25年9月に策定され、今回で7回目の委員会となった、今年度で中期プロジェクトは終了し次年度から後期プロジェクトへ移行する。
- ・近年、さくらおろち湖周辺への来場者は順調に推移しており、今年度の来訪者も推計で前年度を上回る見込みとなっている。
- ・昨年も第6回トレイルランニング大会、第3回トライアスロンなど各種スポーツイベントが盛大に開催された。なかでも、11月には第4回ロゲイニング大会と子どもでも気軽に参加できるスコア・オリエンテーリングを同時開催し、西日本最大級の大会にまで成長するなど、着実にさくらおろち湖周辺のスポーツ人口は増えている。
- ・こうした中でプロジェクトを通じてさくらおろち湖の持つ地域資源を積極的に活用しながら、地元や地域づくり団体など、この水源地域における多様な関係者の結びつきにより、本ビジョンが着実に推進され、斐伊川流域圏の発展につながることを強く期待している。

2) 議事

①尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正

◆事務局より、規約改正について報告が行われた。

【事務局説明内容】

- ・平成31年1月10日付で規約別表の事務局を「奥出雲町地域振興課」から「奥出雲町商工観光課」に委員を「石原肇、柴田亮」から「内田正男、大作和弘」に変更し、「特定非営利活動法人さくらおろち」を事務局に追加したことを報告した。

②尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告

◆事務局より、第6回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会以降の取組状況について報告が行われ、承認された。

【事務局説明内容】

- ・第6回推進委員会後、さくらおろちを活性化する会を3回開催し、各プロジェクトの実施状況や各組織の取組内容等に関する意見交換を行った。
- ・さくらおろちを活性化する会での主な意見や情報交換された事項を報告した。

③尾原ダム水源地域ビジョン後期版への移行

◆事務局より尾原ダム水源地域ビジョンの中期版から後期版への移行内容について報告が行われ、委員の意見を踏まえ事務局で整理することに決定。

【事務局説明内容】

- ・水源地域ビジョンは策定期間に比べ実施状況が少しずつ変わってきている。また、計画どおり推進することが難しいプロジェクトもある。順調なプロジェクトは引き続き継続し、状況の変化等により推進が困難なプロジェクトは、再編した上で推進する方針で後期版を作成していると報告。
- ・水源地域ビジョンの修正箇所について個別に説明。

【委員からの主な意見】

- ・16-4その他の有効利用の新たな活用策の検討の中に星空観察会、ドッグラン、たたら製鉄等と記載がある。星空観察会、ドッグランという、極めて個別具体の中で、たたら製鉄は広く製鉄文化、歴史的なこと、資源とかを生かすというような趣旨なので、随分広い。別項目でも良い印象。

④平成30年度のプロジェクト実施状況、平成31年度の実施プロジェクト（案）

◆事務局より、平成30年度のプロジェクト実施状況、平成31年度の実施プロジェクト（案）について説明し、承認された。

【事務局説明内容】

- ・平成30年度もレガッタ大会や自転車競技、トレイルランニング、トライアスロン大会などのスポーツイベントが実施された。また、さくらおろち湖まつり、クレスト放流など様々なイベントや上下流交流も引き続き実施し、さくらおろち湖の魅力向上に努めた。
- ・今年度予定していたプロジェクト137件のうち、134件については実施済み。3件については実施ができなかった。「水辺で乾杯」は平成30年7月豪雨の影響で中止となった。「ワカサギの卵」、「ワカサギ料理の開発」についてはワカサギの卵が不漁により中止となった。ワカサギについては平成30年度に孵化器をダム湖に設置し、継続して取り組

みたい。

- トピックスとして、さくらおろち湖湖上花火は有志による募金活動を行い開催し、約500名の観客が集まった。また、伐採した竹やたけのこを活用した交流活動として、尾原ダム周辺に自生するたけのこを伐採し上野動物園のパンダに送付した。
- 各種スポーツ大会の大会運営補助のボランティアが非常に不足している。今後積極的な活用策を実施していきたい。自転車競技施設周辺の桜ともみじの植樹を平成27年度より実施しているが平成31年度で完了の予定である。

【委員からの主な意見】

- スポーツイベントは数多く実施されているが、「観客」が少ないと思われる。せっかくのイベントなので、どこに行けば観戦できるかをもっと案内してほしい。特に、自転車競技は周辺道路の通行止めがあるので、不案内な人でも迷わず観に来られるよう、尾原ダム周辺に案内看板を設置してPRしてはどうか。また、イベントの際に玉鋼の店を出したりするなど、もっと「たたら」のPRが必要ではないか。
- イベントにあたって参加者や観客が安心して参加などができるよう歩道等の環境整備が必要と考える。